

インタープリテーション・ トレーニング・セミナー シラバス

2017年版

■セミナーの位置づけ

- ・インタープリターを目指す人、インタープリテーションに関心のある人のための教育・研修。
- ・インタープリテーション活動をこれから始めたい方、すでに施設等で活動されている方など、インタープリテーションに興味のある方ならどなたでも参加出来ます。
- ・研修カリキュラムは、国内の自然公園や環境教育施設の実践からフィードバックされた内容をもとにして、米国国立公園局との協働や大学での研究成果等を元に常にアップデートされた最新のコンテンツを提供します。
- ・主に自然系のインタープリテーションを題材にしますが、インタープリテーションを観光や地域づくり、博物館などに関連した幅広い概念としてとらえます。また、自然や環境そのものに関する知識はあまり扱いません。

■目的

講義や実習等を通して、インタープリテーションの基本的な考え方、さまざまな場所で応用可能な基本技術を習得します。またインタープリテーションの意義を知るとともに、取り組む意欲を高めます。

■目標

- ・個人ワークでのインタープリテーション計画・実施の実習、コンサルテーション等により、プログラム作りの過程をケーススタディし、技術の向上をはかります。
- ・講義や参加者との交流、グループワーク等を通じて、インタープリテーションの広がり学びます。
- ・実習、コンサルテーション等を通じて、自らの課題を見出し、以降の活動につなげます。

■研修スタッフについて

インタープリタートレーニングセミナーは、以下の様な複数のスタッフによって運営されます

研修ディレクター：研修全体の内容や進行を統括的に管理します。インタープリター、あるいは環境教育事業、研究などインタープリテーションに関する実務経験が15年以上、トレーナーとしての経験10年以上、もしくは研修会のトレーナー経験25回以上のキャリアを持つものが担当します。現在、当協会では4人のディレクターがいます。

トレーナー：研修中の、実習や講義、評価等を担当します。インタープリターとしての実務経験が5年以上、トレーナーとしてのOJTを十分受けたスタッフが担当します

アシスタント・トレーナー：インタープリターとしての実務経験が3年以上のスタッフが担当。

ゲスト：インタープリテーションに関連したゲストを招く場合があります

※参加者が少ない場合は、研修ディレクターとトレーナー（もしくはアシスタント・トレーナー）で実施する場合があります。

■配布予定のテキスト、資料等

- インタープリター・トレーニング・セミナー・テキスト（オリジナル資料、A4カラー：約90ページ）
- インタープリターとしての立ち位置を考えるワークシート
- インタープリテーション計画ワークシート 1
- インタープリテーション計画ワークシート 2
- 他、プログラム関連のワークシート、補助配布物など

表1 カリキュラムに含まれる項目

<p>インタープリテーションの技術項目</p> <p>主として、実習として実施します。グループワークと個人ワークがあります。</p>	解説実習1.自己紹介（もっともよく知っているはずのことを解説してみる）
	複数のスタイルのプログラムの参加体験（ガイドスタイル、参加者主体、自然観察的なアプローチなど）
	解説実習2. インタープリテーションの工夫を考える実習（グループワーク）
	コミュニケーション実習：効果的なコミュニケーションを考える
	プログラム作成のための素材調査実習
	解説実習3-1. 自分の関心や特性を活かしたプログラムの計画（個人ワーク）
	解説実習3-2. プログラムの予行
	解説実習3-3. フィードバックとディスカッション
	解説実習3-4. 計画や予行に対するコンサルテーションと再検討
解説実習3-5. プログラムの実施	
<p>インタープリテーションの理解</p> <p>主として講義によって扱う項目です。実習と並行しながら扱います。</p>	インタープリテーションとは
	インタープリテーションの歴史
	インタープリテーションのいろいろ
	インタープリテーションの特徴
	プログラムとは、プログラムの基本構造
	「テーマ」を基にしたインタープリテーション
	効果的なインタープリテーションの構造
	トピック1：実施地の地域性や、担当スタッフの特性を活かした、情報提供等
	トピック2：
<p>インタープリテーションに係る諸活動</p> <p>ワークショップ的な手法と、スタッフとの対話によって、参加者固有の課題やニーズにアプローチします。</p>	インタープリターとしてのポジショニング（自分の立ち位置を確認する）
	個性を活かしたインタープリテーションを考えるため、それぞれのインタープリターとしてのポジショニングを考えます。
	参加者同士の情報交換
	参加者やスタッフとの交流を通して、幅広くインタープリテーションを捉える機会とします
	インタープリテーションの活動に関するコンサルテーション
インタープリテーションの活動に関する個別の質問等に対応します	